

2019(令和元)年度 第三者評価委員評価 (アンケート結果)

項目	No.	評価の観点	評価			
教育目標	1	<p>認定こども園あおばとは生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要な乳幼児施設として、以下の教育・保育目標を設定しています。</p> <p>a 創立者が示した児童観に基づき思いやりのある個性豊かな子どもを育てる</p> <p>b 安全で健康的な教育・保育環境を維持する</p> <p>c 自然に恵まれた園の環境を享受し、さまざまな体験を通じて子どもたちの発達を促す</p> <p>d こども園の特色を生かし、さまざまな活動の展開が可能となり、充実した遠生活が体験できるよう努力する</p> <p>園の運営がこうした教育目標に沿って行われていると思いますか。</p>	<p>該当箇所に○印を付けて下さい。</p> <p>A=はい</p> <p>B=大体当てはまる</p> <p>C=あまり当てはまらない</p> <p>D=いいえ</p>			
			A	B	C	D
			2			
	2	<p>小学校関係者、卒園児及びその保護者とのコミュニケーションの機会を作り、様々な課題を整理して、保育の計画に反映するように努力していますが、このことが十分に行われていると思いますか。</p>	2			
保育の計画	3	<p>「遊び」を通して様々な発見と気づきから、自ら学ぶという主体性を培うことを目指して教育を行うように努めていますが、成果として表れていると思いますか。</p>	2			
	4	<p>集団生活を通じて人のかかわりを深め、自分以外の人々を大切に思う心を養うとともに、礼拝を通じて神様の大きな愛を感じることができるよう努めていますが、豊かな心が育っていると思いますか。</p>	2			
	5	<p>園生活を通じて義務教育の基礎作り（就学前教育）をご家庭と園が協力して努めています。</p> <p>a 基本的な生活習慣を身につける</p> <p>b 先生の話を中心して聞き、決まりをきちんと守る</p> <p>c 好きなことをより深め、発展を図る</p> <p>このことが十分に行われていると思いますか。</p>	2			

保育の計	6	特別支援教育などを必要とする幼児のために、教職員は研修を重ね、受け入れができるように準備していますが、十分な信頼感があると感じられますか。	2			
	7	上記のことを実現するために、教職員は自らの資質向上のために次のような研修を受け研鑽しています。 a 神奈川県主催の各種研修 b 日本聖公会保育連盟の各種研修 c 大磯町の子育て関連研修 d その他園内研修 その成果を保育に十分反映していると思いますか。	2			
地域との連携	8	未就園児とその保護者のために園の施設を開放し、園児たちと交わる機会を設けたり、育児相談の機会を設けるなどして、地域の幼児教育センターとしての役割を果たそうとしていますが、このことが十分に行われていると思いますか。	2			
	9	地域とのつながりを深め、危急の場合の幼児の保護について連携を深めるように、日頃から近隣自治会と対話を心がけていますが、このことが十分に行われていると思いますか。	1	1		
安全衛生	10	幼児の安全・健康の確保はすべてに優先するとの考えで、施設の安全、通園方法の検討、健康管理に加えて、各種避難訓練などを行っていますが、このことが十分に行われていると思いますか。	2			

幼保連携型認定こども園あおばと

2020年3月
第三者評価委員之名による
評価結果